

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

21年02月07

営業本部 / 東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページ<http://www.dnlighting.co.jp>をご確認ください。

安全上の注意

警告



- 点灯中のランプは絶対に直接または間接に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。
- 紫外線(殺菌線)を皮膚に直接または間接にあてないでください。皮膚の炎症や日焼けをおこす原因となります。



- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。



- ランプ交換、ファン交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。

注意

- 適合ランプ以外は使用しないでください。ランプ落下によるケガ、短寿命、不点灯、火災の原因となることがあります。
- 電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障、火災の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。

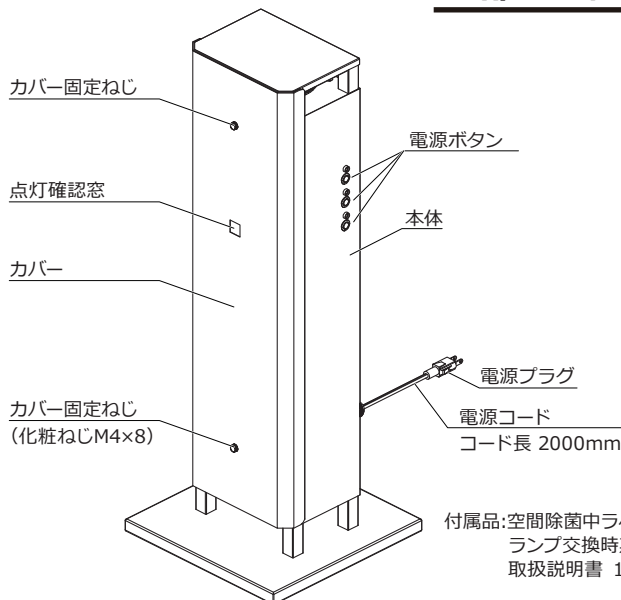
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- 誤って落下させた器具は使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 点灯中や消灯後しばらくは、ランプが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- ランプの取り付け、取り外しは取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。ランプの落下、火災の原因となることがあります。
- ファンの交換は取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。故障、火災の原因となることがあります。

ご使用上の注意

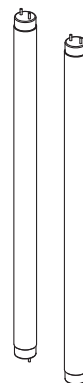
- 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障の原因となることがあります。
- 点灯および消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 性能を維持するために定期的に器具やランプの清掃や点検をしてください。
- 指定のファンを必ず使用してください。

- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 電源波形に歪みや変動があるときはランプにチラツキを生じたり、器具に若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。

各部の名称



付属品:空間除菌中ラベル 1枚
ランプ交換時期ラベル 1枚
取扱説明書 1枚



付属品:紫外線ランプ
GL-15 2本

ご使用前の準備《紫外線ランプを取り付ける》



視力障害・皮膚炎症の原因

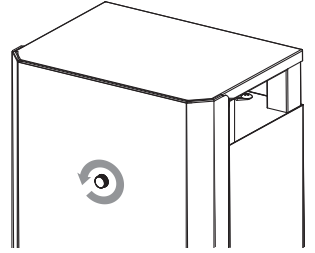
- 準備が完了するまではコンセントに電源プラグを絶対に差し込まない。
- カバーをあけたまま使用しないこと。
(紫外線UV-Cを放射する殺菌ランプ内蔵)

1. 平らな床に本体を置く

2. カバー固定ねじを外す(2カ所)

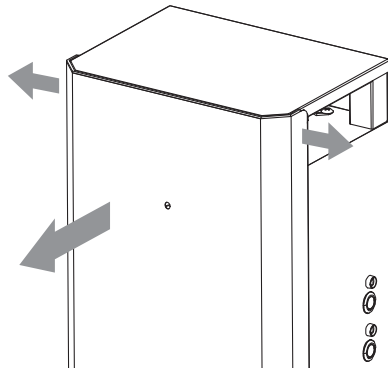
本体表面の中央上下についているカバー固定ねじを手で回し外します。

注意]カバー固定ねじは紛失しないように注意してください。万一、紛失した場合は適合ねじを必ず使用してください。(適合ねじ:化粧ねじM4×8)

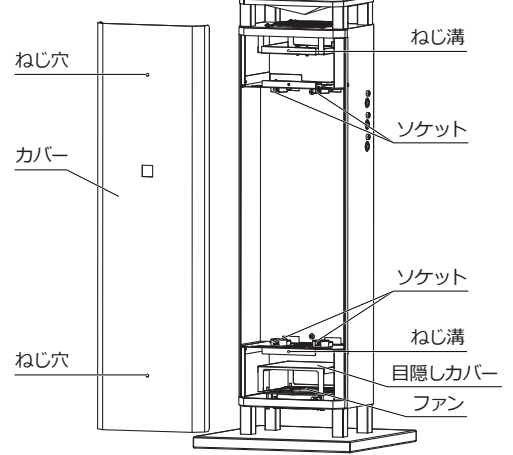


3. 本体からカバーを外す

カバーの上部両側面に指をかけ、外側へ広げるようにして、カバーを前方に引きながら外してください。

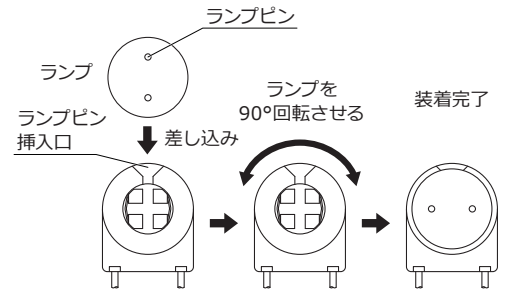
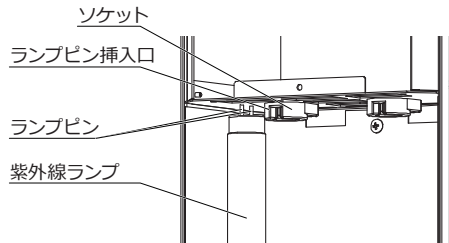


《カバーを取り外した状態》



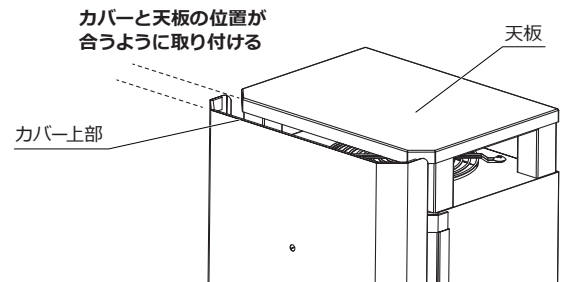
4. 紫外線ランプを取り付ける(2本)

ソケットのランプピン挿入口に紫外線ランプのランプピンを上下とも確実に差し込み、ランプを90°回転させ、カチッと音がすることを確認してください。



5. 本体にカバーを取り付ける

カバーの上部が本体天板の位置に合うようにカバーを取り付けてください。カバーのねじ穴と本体ねじ溝の位置が合っていることを確認してください。カバーの位置がずれていた場合は再度カバーを外して付けてください。



6. カバーを固定する

カバーのねじ穴からカバー固定ねじを入れ、手でしっかりと締めこんでください。ねじの締めこみが不十分な場合、安全スイッチにより電源は入りません。

7. ランプ交換時期ラベルを貼る

「ランプ交換時期ラベル」に使用開始日を記入し、本体背面に貼り付けてください。

設置日： 年 月 日

交換時期：約1年に1回程度
条件：1日24時間運転

交換用 殺菌ランプ
GL-15
DNライティング株式会社



使いかた

警告 **視力障害・皮膚炎症の原因**

- カバーをあけたまま使用しないこと。
- 装置内をのぞかないこと。
- 光を皮膚に当てないこと。
(紫外線UV-Cを放射する殺菌ランプ内蔵)

1. 設置場所の確認

警告 本体を移動するときはコードを引っ張らないよう電源プラグを抜く(感電・火災の原因)

通風のため右記の距離を目安にお使いください。

2. 本体の設置

警告 台座部に電源コードを挟まない(感電・火災の原因)

平らな床面に本体を置いてください。

3. 電源プラグをコンセントに接続

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

警告 電源コードはたばねて使用しない(火災の原因)

注意 電源プラグを抜く際はプラグを持って抜く(感電の原因)

4. 運転を開始する

右記《電源ボタンの操作方法》にしたがって運転を開始してください。

紫外線ランプが点灯し、ファンが作動します。紫外線ランプの点灯確認は点灯確認窓*でおこなってください。

※紫外線カットガラス使用

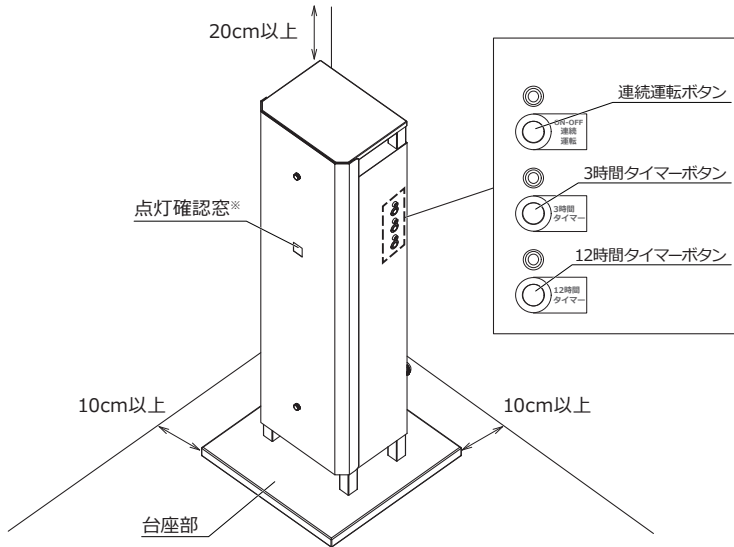
紫外線ランプが点灯しない場合、ランプがソケットに確実に取り付けられているか確認してください。

「ご使用前の準備(紫外線ランプを取り付ける)」手順4参照

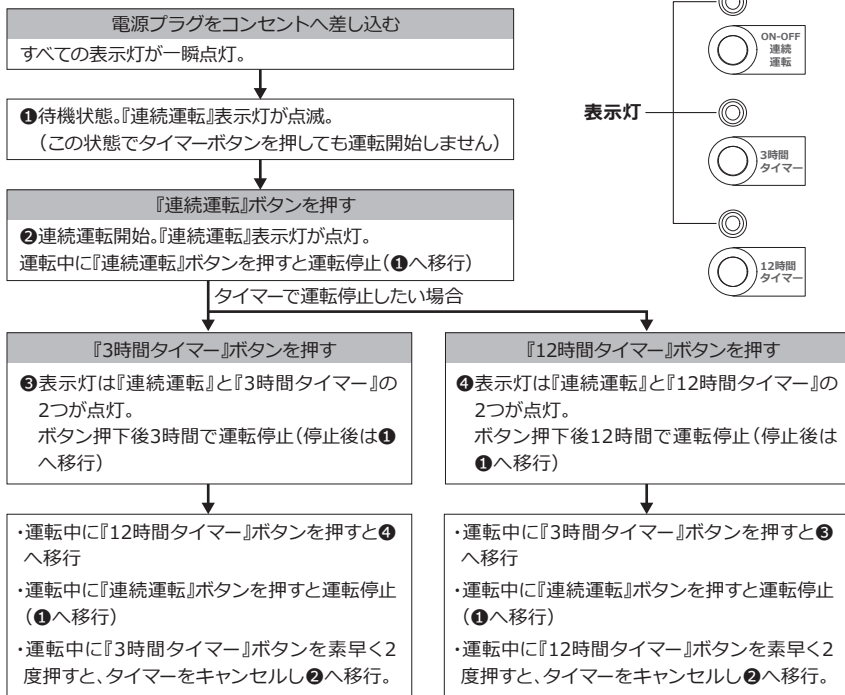
5. 運転を停止する

右記《電源ボタンの操作方法》にしたがって運転を停止してください。

紫外線ランプが消灯し、ファンが停止します。



《電源ボタンの操作方法》



お手入れ

警告 お手入れの際は電源プラグを抜く(感電の原因)

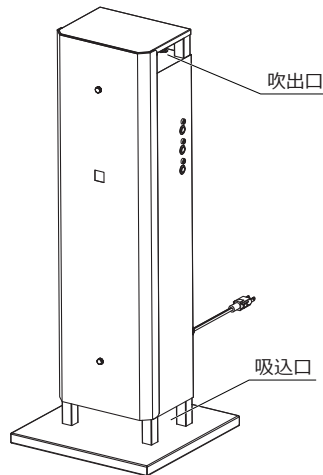
■ 本体

水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。

■ 吸入口・吹出口

上下の吹出口、吹出口のフィンガーガード部のホコリ、ごみを取り除いてください。

水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。



紫外線ランプの廃棄について

廃棄物及び、清掃に関する法律では、家庭から排出される紫外線ランプは一般廃棄物、事業所等から排出されるものは産業廃棄物に分類されます。一般廃棄物は各自治体が、産業廃棄物は排出事業者自らが処理することになっています。紫外線ランプには水銀が含まれるため安易に廃棄せず、自治体又は専門の処理事業者へ、適正な処理を依頼することをお勧めします。

ランプ・ファン交換方法

警告 ランプ・ファン交換の際は電源を必ず切り、電源プラグを抜く(感電の原因)

注意 交換作業はランプやその周辺が冷めてからおこなう(やけどの原因)

■紫外線ランプの交換方法

1. カバーを取り外す

☞「ご使用前の準備《紫外線ランプを取り付ける》」手順1~3参照

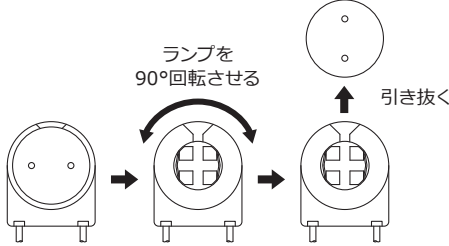
2. ランプを交換する

①ランプを取り外す

ランプを90°回転させ、上下のソケットから同時にまっすぐ手前に引き抜いてください。

②新しいランプを取り付ける

☞「ご使用前の準備《紫外線ランプを取り付ける》」手順4参照



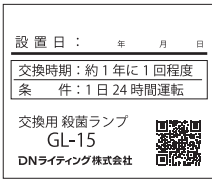
3. カバーを取り付ける

☞「ご使用前の準備《紫外線ランプを取り付ける》」手順5~6参照

4. ランプ交換時期ラベルを貼る

①古い「ランプ交換時期ラベル」を剥がしてください。

②ランプ交換、カバー取り付け後に新しい「ランプ交換時期ラベル」に使用開始日を記入し、本体背面に貼り付けてください。



■ファンの交換方法

(交換用ファン:109S081)

1. カバーを取り外す

☞「ご使用前の準備《紫外線ランプを取り付ける》」手順1~3参照

2. 本体を横に倒す

本体開口部を上にし、本体を横に倒してください。

3. ファンを交換する(右図参照)

①本体底部の六角穴付きボルト(4本)を六角レンチ(2.5mm、別途必要)で取り外してください。

②目隠しカバー、ファンを本体の外側へ移動し、ファンからプラグコードを外してください。

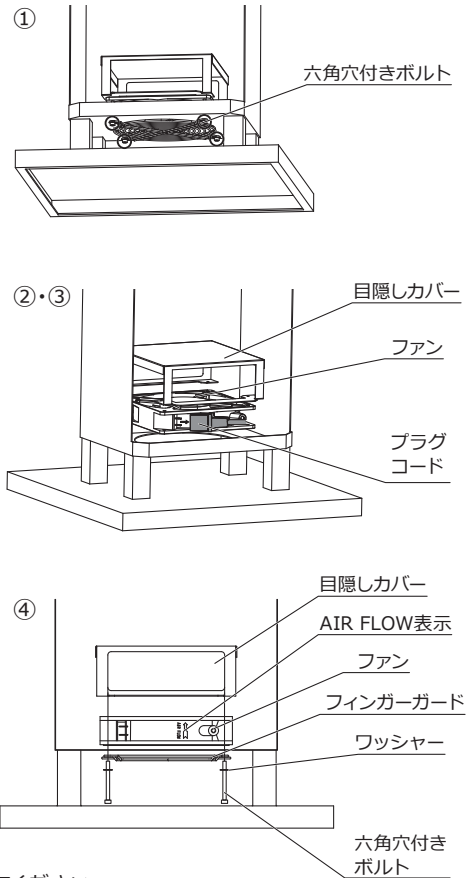
③交換用ファンにプラグコードを確実に接続してください。

④六角穴付きボルト(4本)とワッシャーでフィンガーガード、ファン、目隠しカバーを本体へ固定してください。ファンは右図のようにAIR FLOW表示の矢印が上向きになるように取り付けてください。

4. カバーを取り付ける

①本体を立ててください。

②☞「ご使用前の準備《紫外線ランプを取り付ける》」手順5~6参照



■交換作業終了後の動作確認

運転を開始し、交換部品の動作確認をおこなってください。

☞「使いかた」参照

故障かな?と思ったら...

1. ランプの異常

Q: ランプが点灯しません。

A: 電源コードのプラグが抜けていたり、待機状態(「連続運転」表示灯が点滅した状態)になっていませんか?
点灯確認用窓から紫外線ランプが青く光っていることを確認してください。

Q: 点灯確認用窓から確認したが点灯しません。

A: 紫外線ランプが回転式ソケットに確実に取り付けられていますか?

Q: 紫外線ランプを回転式ソケットに確実に取り付けましたが点灯しません。

A: カバーの化粧ねじが確実に取り付けられていますか?

Q: カバーの化粧ねじを取り付けたが点灯しません。

A: 化粧ねじが緩んでいませんか?
安全装置を内蔵していますので化粧ねじを確実に締めてください。

2. ファンの異常

Q: ファンが動作しない。

A: ファンのコネクタが抜けていませんか?
ファン交換の際も、確実にコネクタを差し込んでください。

Q: ファンから異音が出る。

A: 埃などが付着していませんか?
ファンの清掃をしてください。

3. その他

Q: カバーの固定ねじを紛失してしまった。

A: 化粧ねじM4×8をお使いください。

仕様

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式	適合ランプ	本体質量(kg)	周波数(Hz)	入力電圧(V)	入力電流(A)	入力電力(W)
GC-152S-TM	GL-15×2	7.5	50/60共用	AC100V	0.66	39.5

●本体材質:SPCC(白色塗装) ●屋内専用 ●本体寸法:幅205mm・奥行153mm・高さ790mm(台座部は300×300mm)

保守・点検

●殺菌灯器具および関連部品(安定器・ソケット含む)には寿命があります。
●設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。